

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	植物と病原体の攻防における分子機構
研究代表者	<p>白須 賢 （国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター・グループディレクター） ※平成29年6月末現在</p>
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、「植物が如何にして身を守っているか」、そして、「病原体が如何にしてそれを破るか」、この攻防の分子機構に関する全容の解明を目的としている。これまで応募者は、世界に先駆けて植物免疫機構の研究を進め、動植物共通の免疫に必要なシャペロン複合体を報告した。そして、その機能構造解析を進め、国際的に最先端の研究成果を発表している。本研究は、これらの研究成果に裏付けされ、1) 過酸化水素センサー候補の機能解析、2) 植物免疫における重要タンパク質、及びその複合体の同定と機能解析、3) 病原体因子及びその植物ターゲットの同定と機能解析等を目的とする世界的にも先駆的なものである。</p> <p>現時点では、本研究の遂行に最も重要な過酸化水素センサーが未解明であるが、研究目的や実績及び予備実験結果等を総合的に判断し、基盤研究（S）として推進することが適当であると判断した。</p>